

令和5年度 学校評価 自己評価書(1学期)

1 学校の重点目標

- 現不登校生徒及び傾向のある生徒の支援継続と新規不登校生の予防
- 学力向上に向けた指導力向上
- 道徳科運用の意義の理解と共通実践内容の正確な把握と資料分析の手法の獲得

2 課題と対策等

	評価項目	職員	評価結果と改善策等
	1-かなり努力が必要 2-努力が必要 4-良かった 5-とても良かった		
重点項目	【不登校の解消(生徒指導の重点)】 ・不登校生徒・不登校傾向生徒への支援充実(欠時数、欠席日数の削減) ・「希望の登校 笑顔の活動 満足の下校」による新規不登校の抑止 ・より多くのいじめ認知によるいじめの解消	4.0	・全校体制で取り組むことができている。 ・学級に居場所をつくるための取組の充実が求められる。
重点項目	【非認知能力の向上】 ・探究学習(クエストエデュケーション)を核とした学ぶ意欲の向上	2.9	・1学期中は探究学習を行うことができていない。 ・全校的に探究学習の理念を広めていくことが求められる。
重点項目	【「業務改善アクションプラン」の確実な運用による子どもと向き合う時間の確保】 ・課題に即した業務遂行、「1Action」「1Try」の実践 ・業務の簡素化、デジタル化 ・「土日における部活動の地域移行」モデル事業の積極活用	2.9	・職員全員が意識して取り組んでいるが、実感としての十分な改善感が乏しい。 ・職員それぞれによる業務の精選が必要である。 ・土日における部活動の地域移行を積極的に活用する。
重点項目	【鹿児島GIGAスクール構想に準拠したICTの有効活用】 ・ICT機器、タブレット端末等の活用 ・デジタルコンテンツ等の活用 ・校務支援ソフトの活用	3.1	・タブレット端末を活用した教育活動が進んでいる。 ・校務支援ソフトの活用が進んでいる。 ・デジタルコンテンツのさらなる積極的活用が求められる。
重点項目	【特別支援教育の充実】 ・切れ目のない引継ぎ ・全校体制での個別最適な学習の追求	2.7	・全校体制で臨んでいる。 ・生徒に関する情報をより細かく適時に全校で共有できよ。 ・校内支援委員会の「見える化」を進める。
重点項目	【コロナ禍における最適解の追求】	3.9	・各職員、各担当において思考と実践が為されている。
重点項目	【信用失墜行為等不祥事根絶に向けた取り組みの充実】 ・職員研修の充実 ・職員朝会、職員会議、校長室だより等での定期的な指導	3.9	・職員朝会、職員会議、校長室だより等で積極的に指導を重ねている。 ・警察官による講話の実施や、参加型の職員研修を行うなど、内容や進め方を工夫している。
重点項目	【学力向上に関する取組】 ・Web問題、過去問題等の活用常態化による「わかる」から「できる」へ変遷 ・全教職員の研究授業と授業研究の完遂	2.7	・全職員が意識している。 ・「わかる」から「できる」授業への変遷が途上である。 ・全職員(対象者)による研究授業を計画的に進める必要がある。
保健指導	【体力の向上と健康教育の充実】 ・体力向上に向けた取組 ・部活動の推進と各種健康講話の充実	3.7	・毎時間の体育の授業で、体力向上に向けた取組が継続的に実施されている。 ・部活動やスポーツクラブへの加入率は市平均を超えている。 ・各種健康講話を計画的に実施している。
小中連携	【小中連携の取組】 ・喜入地域小中連携研修会、サポートチーム会議 ・相互の授業参観	3.0	・全校体制で小中連携研修会へ参画することができた。 ・サポートチーム会議のあり方と進め方を改善する必要がある。 ・小中間での授業参観等による職員交流が進んでいない。
地域連携	【地域とともにある学校】 ・学校運営協議会との協働 ・喜入地域体育大会、喜入地域文化祭	3.1	・学校運営協議会と協働できている。 ・喜入地域体育大会や、喜入地域文化祭へ中学校として参加協力する予定である。
地域連携	【「信頼される開かれた学校づくりの推進」に関する取組】 ・鹿児島ユナイテッドFC等の地域人材の活用 ・保護者、関係機関との連携等	3.7	・探究学習において鹿児島ユナイテッドFC、南九州ファミリーマートとの協働する予定である。 ・土日における部活動の地域移行において、地域との連携がなされる予定である。

3 次学期に向けての取組

- 探究学習の本格実施と、その理念を学校全体で共有し各教育活動において実践していく。
- ICT機器やデジタル教材も積極的に活用しながら、求められる学力観での力を養うことを視点にもち、授業改善を推進する。